

図書コード・書名		521	てざわりえほん サファリへいこう！		やってみたいな おみせやさん	
発行者・著者		三起商行	絵 たかいよしかず		ほるぷ出版	ひらぎみつえ
判型・ページ数・価格		16.5×15cm	12ページ	1,375円	16×16cm	8ページ 935円
採 択 基 準	基本観点					
1 学習指導要領に示す目標に沿い、その内容を適切に取り上げていること。	(1) 教科の目標達成に必要な内容	動物に興味・関心をもつことができ、動物の名前や鳴き声、特徴などを知ることができる。  関連教科（理科）			お話をしながら色々なお店があることや、そこに売られている物を知ることができる。  関連教科（国語）	
2 内容の程度が、児童生徒の発達段階に適切していること。	(1) 発達段階のめやす(注1)	A 段階			A・B 段階	
	(2) 障害の状態、発達段階及び特性などへの配慮	動物の絵を触ったり、鳴き声を言ったりすることで興味を増すことができ、様々な感触を知らせることも大切である。			しかけを動かしながら絵の変化を楽しむ、様々なお店の特徴を知らせることが大切である。	
3 内容の選択及び扱いが、学習指導を進める上で適切であること。	(1) 生活経験や興味・関心への配慮	動物の名前や鳴き声、特徴などに興味をもたせることができる。			しかけを触ったり、やりとりをしたりしながら様々なお店への興味・関心をもたせることができる。	
	(2) 主体性や創造性、思考力、判断力、表現力等の育成	絵本を自ら触ることで、様々な感触に慣れたり、触りながら言葉と感触を結びつけたりすることができる。			お店で何が売られているのかを考えさせることができる。	
4 内容の構成・配列・分量が、学習指導を有効に進める上で適切であること。	(1) 系統性・発展性	動物の絵から様々な動物を覚え、動物の鳴き声や動作を覚えたり模倣したりすることに発展できる。			しかけを触りながら絵の変化を楽しむ、様々なお店やさんに売られているものを見ながら色や物の名前を知ることへと発展できる。	
	(2) 全体の分量	動物園で見かける動物が描かれており、年間を通して使用できる。			しかけの変化を繰り返して楽しむことができ、年間を通して使用できる。	
5 表記・表現が正確かつ適切であること。	(1) 文字、文章、挿絵	文字は大きく読みやすい。動物の特徴を捉えた絵でわかりやすい。			文字は大きく読みやすい。背景が淡い色でしかけの変化がわかりやすい。	
	(2) 図表、写真等の資料	使用されていない。			使用されていない。	
6 体裁や造本が適切であること。	(1) 色使い、ページレイアウトなど	実物と似た色や触感で鮮明に表現されている。			しかけを引くと服や表情が変わる変化を楽しめる。	
	(2) 文字の大きさ、字間、行間	読みやすい。			文字が大きく、行間も空いているため読みやすい。	
	(3) 用紙、製本、表紙	表紙と用紙は厚紙を使用している。製本はしっかりしている。			表紙と用紙は厚紙を使用している。しかけ部分もしっかりしている。	
備 考 (発 行 年)		動物によって手触りが違い、感触を楽しみながら読むことができる本である。  (H17)			(R3)	

図書コード・書名		うたってあそぼ！ やおやのおみせ		ノリノリ！ お店やさんごっこ			
発行者・著者		成美堂出版	絵 菊池きよみ 脚本・構成 松家まきこ		チャイルド本社	西岡育子	
判型・ページ数・価格		30×21.5cm	Pペーパー 12枚	2,750円	17×19cm	48ページ	990円
採 択 基 準	基本観 点						
1 学習指導要領に示す目標に沿い、その内容を適切に取り上げていること。	(1) 教科の目標達成に必要な内容	野菜やパンの名前、それらがどのようなお店に売られているのかを知ることができる。		ごっこ遊びを通して、きまりを守ったり役割を果たしたりすることができる。			
		関連教科 (国語、音楽)		関連教科 (国語、図画工作)			
2 内容の程度が、児童生徒の発達段階に適応していること。	(1) 発達段階のめやす(注1)	A・B 段階		B 段階			
	(2) 障害の状態、発達段階及び特性などへの配慮	歌を歌ったり、やりとりしたりする中で、身近な野菜やパンに興味をもたせることが大切である。		文字だけでなく、絵や写真がたくさん使われていてわかりやすい。			
3 内容の選択及び扱いが、学習指導を進める上で適切であること。	(1) 生活経験や興味・関心への配慮	八百屋とパン屋に売られている物をパネルシアターを通して知らせる。お店に売られている野菜やパンの名前に関心をもたせることができる。		身近なお店に何が売られているのかをやりとりをしながら知らせる。好きなことや物からお店を考えることができ、興味・関心の幅を広げられる。			
	(2) 主体性や創造性思考力、判断力、表現力等の育成	八百屋やパン屋にどんなものが売られているのかをやりとりしながら考えさせることができる。		完成作品の写真があり、イメージをもちながら作りたいものを決めることができる。			
4 内容の構成・配列・分量が、学習指導を有効に進める上で適切であること。	(1) 系統性・発展性	八百屋とパン屋から色々な店に発展させ、物の名前を知ることにつながる。		お店やさんごっこから、人と関わる力ややりとりする力を高めることにつながる。			
	(2) 全体の分量	八百屋とパン屋以外にも、様々なお店へ展開させ年間を通して使用できる。		複数のお店が作れ、年間を通して使用できる。			
5 表記・表現が正確かつ適切であること。	(1) 文字、文章、挿絵	演じ方がイラストと文字で書かれているためわかりやすい。		作品の作り方が細かく書かれておりわかりやすい。			
	(2) 図表、写真等の資料	使用されていない。		写真がたくさん使われており見やすい。			
6 体裁や造本が適切であること。	(1) 色使い、ページレイアウトなど	淡い色使いで読みやすい。また、文字とイラストが書かれているためわかりやすい。		わかりやすい。			
	(2) 文字の大きさ、字間、行間	パネル布の文字は大きく読みやすい。		読みやすい。			
	(3) 用紙、製本、表紙	ケースは厚紙でしっかりしてる。パネル布のため破れにくい。遊び方Bookの製本はしっかりしている。		用紙は紙質がよい。製本はしっかりしている。			
備 考 (発 行 年)		パネルシアターを楽しみながら、お店に売られているものを知ることができる本である。指導者用に演じ方bookがついている。		(R元)			

図書コード・書名		693	みんなの防災えほん		都道府県かるた	
発行者・著者		PHP研究所	監修 山村武彦 絵 YUU		学研プラス	監修 由井菌健
判型・ページ数・価格		28.2×21.7cm	39ページ	1,760円	20.7×15cm	47枚 1,650円
採択基準	基本観点					
1 学習指導要領に示す目標に沿い、その内容を適切に取り上げていること。	(1) 教科の目標達成に必要な内容	防災に関して知識を得ることができ、災害に応じた対策や注意点を知ることができる。		かるたとして楽しみながら、47都道府県の特徴や形・位置を知ることができる。		
		関連教科 (理科)		関連教科 (国語)		
2 内容の程度が、児童生徒の発達段階に適切していること。	(1) 発達段階のめやす(注1)	(B)・C・D 段階		C・D 段階		
	(2) 障害の状態、発達段階及び特性などへの配慮	避難訓練などを通して、自分の生活と結びつけて具体的に考えられるようにすることが大切である。		都道府県の位置は、付属の日本地図を活用して覚えていく必要がある。		
3 内容の選択及び扱いが、学習指導を進める上で適切であること。	(1) 生活経験や興味・関心への配慮	身の回りの危険や災害時の注意等を学ぶことができる。大雪・大雨・雷等の天候についても興味・関心をもたせることができる。		絵札の裏面には、都道府県の主な生産物や景勝地も示されているので興味・関心をもたせることができる。		
	(2) 主体性や創造性思考力、判断力、表現力等の育成	傾く家具や燃えやすい物などの絵から、危険な状況について考えさせることができる。		かるた遊びによって、意欲的に都道府県の特徴を覚えられるようになることが期待できる。		
4 内容の構成・配列・分量が、学習指導を有効に進める上で適切であること。	(1) 系統性・発展性	災害に備えるための準備物や避難所での過ごし方についても示され、災害そのものに限らず事前・事後の生活についても発展的に学べる。		地方限定や西日本限定として少ない枚数でかるたをすることもできる。絵札に示された県名を付属のカバーシールで覆い、難易度を調整することも可能である。		
	(2) 全体の分量	自然災害(地震・台風・大雨・大雪・雷・竜巻)や火事について示され、年間を通して使用できる。		47都道府県の特徴や地方区分・都道府県庁所在地などが示され、繰り返し使用できる。		
5 表記・表現が正確かつ適切であること。	(1) 文字、文章、挿絵	全ての漢字にルビが振られている。災害の場面や行動・持ち物などが絵で示されている。		全ての漢字にルビが振られている。絵札に記された都道府県の絵には、河川や湖も表現されている。		
	(2) 図表、写真等の資料	使用されていない。		大判日本地図・日本列島白地図が付属しており、復習に使用できる。		
6 体裁や造本が適切であること。	(1) 色使い、ページレイアウトなど	鮮明である。災害時に望ましくない行動は、赤と白の文字で説明が書かれている。		鮮明である。日本地図と絵札の裏面にある説明は、地方によって色が異なるので分類しやすい。		
	(2) 文字の大きさ、字間、行間	絵と重ねて文字が示される部分は、文字にうす緑の背景が使われている。		かるたの読み札の文字は、白地に黒と黄緑で書かれていて読みやすい。		
	(3) 用紙、製本、表紙	製本はしっかりとしている。表紙に厚紙が使用されている。		厚紙でしっかりとしており裁断もきれいである。暗記カードとして使えるようにリングを通す穴が開いている。		
備 考 (発行年)				(H29)	(H20)	

図書コード・書名		548	世界の国旗・クイズ図鑑		565	気をつけよう！情報モラル ①ゲーム・あそび編	
発行者・著者		あかね書房	監修 辻原康夫		汐文社	文 秋山浩子 絵 平田美咲	
判型・ページ数・価格		26.4×19.1cm	63ページ	1,650円	26.5×19cm	32ページ	2,420円
採択基準	基本観点						
1 学習指導要領に示す目標に沿い、その内容を適切に取り上げていること。	(1) 教科の目標達成に必要な内容	国旗を通して、世界の国の文化や風習の特徴や違いを知ることができる。			タブレットやスマートフォンを使用するときの約束やマナーを身につけることができる。  関連教科（職業・家庭）		
2 内容の程度が、児童生徒の発達段階に適切していること。	(1) 発達段階のめやす(注1)	C・D 段階			(C)・D 段階		
	(2) 障害の状態、発達段階及び特性などへの配慮	クイズは繰り返し読むことで正答できる内容なので、遊びながら国旗について学べるようにすることが大切である。			子どもたちが、スマートフォンやタブレットを使用している現状を知り、身近なものとして捉えさせることを大切にする。		
3 内容の選択及び扱いが、学習指導を進める上で適切であること。	(1) 生活経験や興味・関心への配慮	国旗を通して世界の国々について知ることができる。類似した国旗や共通点のある国旗などにも注目して学ぶことができる。			普段の生活の中で起こりうる事象を取り上げることで身近なものとして興味・関心をもたせることができる。		
	(2) 主体性や創造性思考力、判断力、表現力等の育成	クイズを通して自ら主体的に国旗や国について学ぶことができる。			ストーリー、解説、問題と構成されており、自分で考えながら読むことができ、情報モラルの知識を知ることができる。		
4 内容の構成・配列・分量が、学習指導を有効に進める上で適切であること。	(1) 系統性・発展性	国旗と国名を対応させて学ぶことができ、国旗の特徴についても併せて学習できる。 索引には、英語正式名称や国際オリンピック委員会が決めた略号も書かれている。			スマートフォンやタブレットを使うときの約束やマナーについて考えさせることへと発展できる。		
	(2) 全体の分量	全22問のクイズがあり、年間を通して繰り返し使用できる。			ストーリー、解説、問題と構成されている。繰り返し読むことができ、年間を通して使用できる。		
5 表記・表現が正確かつ適切であること。	(1) 文字、文章、挿絵	本文のルビは、部分的に振られている。文章は丁寧な言葉で書かれている。			漢字にルビが振られていて、難しい漢字も読むことができる。ストーリー仕立てで話が進められており読みやすい。		
	(2) 図表、写真等の資料	国旗と国の位置が対応するように、世界地図に通し番号が付けられているページがある。			使用されていない。		
6 体裁や造本が適切であること。	(1) 色使い、ページレイアウトなど	全てカラーで示されており、国旗の色も鮮明である。巻末には国旗一覧索引がある。			ストーリー毎に分かれていて読みやすい。		
	(2) 文字の大きさ、字間、行間	見出しの文字は大きく読みやすい。国名は、太字で強調されている。国旗の説明は小さな文字で書かれている。			文字は、せりふで色分けされていてわかりやすい。ストーリーと解説でフォントが分かれており、把握しやすい。		
	(3) 用紙、製本、表紙	製本はしっかりとしている。表紙に厚紙が使用されている。			用紙は紙質が良い。表紙は厚紙を使用している。		
備 考 (発行年)							
		(H23)			(H24)		

図書コード・書名		今がわかる 時代がわかる世界地図2022年版	
発行者・著者		成美堂出版	成美堂出版編集部
判型・ページ数・価格		29.7×21cm	256ページ 1,760円
採 択 基 準	基 本 観 点		
1 学習指導要領に示す目標に沿い、その内容を適切に取り上げていること。	(1) 教科の目標達成に必要な内容	世界の様々な地域について知ることができ、日本との違いについて考えることができる。	
2 内容の程度が、児童生徒の発達段階に適切していること。	(1) 発達段階のめやす(注1)	D 段階	
	(2) 障害の状態、発達段階及び特性などへの配慮	身近な事象や興味・関心のある事象を取り上げながら日本と世界を比べたり、違いを調べたりしていくことを大切にする。	
3 内容の選択及び扱いが、学習指導を進める上で適切であること。	(1) 生活経験や興味・関心への配慮	世界情勢が様々な角度からまとめられており、好きなことから世界を知ることができ興味・関心をもたせることができる。	
	(2) 主体性や創造性思考力、判断力、表現力等の育成	世界と日本の違いを知ることができ、日本が置かれている現状について考えることができる。	
4 内容の構成・配列・分量が、学習指導を有効に進める上で適切であること。	(1) 系統性・発展性	世界情勢について知ることができ、そこから興味・関心のあることを詳しく調べることへと発展できる。	
	(2) 全体の分量	様々な分野についてまとめられている。繰り返し読むことができ、年間を通して使用できる。	
5 表記・表現が正確かつ適切であること。	(1) 文字、文章、挿絵	文章量は多いが、レイアウトに工夫がされており読みやすい。	
	(2) 図表、写真等の資料	棒グラフや折れ線グラフなどを使用し、わかりやすくまとめられている。	
6 体裁や造本が適切であること。	(1) 色使い、ページレイアウトなど	テーマ毎にまとめてあり、読みたいものを探しやすい。	
	(2) 文字の大きさ、字間、行間	見出しは文字が大きく、文章は文字が小さく構成されている。見出しから知りたい情報を探しやすい。	
	(3) 用紙、製本、表紙	用紙は紙質が良い。製本はしっかりしている。	
備 考 (発 行 年)		世界地図だけでなく、今や時代がわかる情報地図となっている本である。  (R4)	